



なか中 便り

〒224-0027 横浜市都筑区大圃町240

TEL: 045-592-3701 FAX: 045-593-5942

E-mail: ky-yj-nakagawa@city.yokohama.jp

《学校教育目標》

信頼と共感 ~夢をもって挑戦し続ける生徒たち~

◇育てたい生徒像◇

- 【知】自ら考え行動し、意欲的に学び続ける生徒
- 【徳】ルールやマナーを守り、人を思いやる優しい生徒
- 【体】心身をきたえ、たくましく生きる生徒
- 【公】役割を自ら求め、地域や社会に貢献する生徒
- 【関】共生・多様性を尊重し、未来を創る生徒



中川中スクールキャラクター
「みどりん」

令和6年度の「なか中生活」が始まります



校長 増田 友昭

新3年生のみなさん、新2年生のみなさん、進級おめでとうございます。そして、新1年生のみなさん、中学校への入学おめでとうございます。

ようこそ、中川中へ！

今日からふたたび、3つの学年がそろって、「なか中生活」が始まります。生徒のみなさんの成長の場として、どんな1年間になるのか、今から楽しみと期待がふくらみます。

「なか中便り」には、毎号、《学校教育目標》が掲載されます。中でも、「信頼と共感」「夢をもって挑戦し続ける生徒たち」は、中川中で生活する生徒や職員の心に灯り続ける、大切な言葉です。新1年生のみなさんも早くこの言葉を胸に刻んで、楽しく充実した「なか中生活」を送ってほしいと思います。また、進級した上級生のみなさんには、心身ともに一回り大きくなった姿を見せてくれることを期待しています。

ところで、昨今は、「教育DX」という言葉がよく聞かれます。「デジタル トランスフォーメーション」の教育版ですが、単に授業でICT機器を活用する、というような考え方を越えて、すべての教育活動、つまり子どもたちの心身の成長全体に、時空を超えていつも役立つものというふうにイメージするのだそうです。ちょっと難しく、私も理解が追い付きませんが、現代の文明生活に馴染みきった利器の数々のように、空気みたいに、あって当たり前、なければ目的を達成できないというほどに浸透していくもの、ということなのかなと思います。

たとえば、本市では4月から中学校で「GIGA 端末の持ち帰り」が解禁となります。その機会に、中川中では、AI型教材（「Qubenaキュービナ」）を導入し、併せて活用することにしました。

78年の伝統を誇る中川中は、いつもそこにあります。でも、中川中の教育活動は、学校という箱の中、限られた時間の中だけにあるわけではありません。多くの人々に支えられ、生徒のみなさん一人ひとり、全員が、自分の成長を実感し、喜び、そして巣立っていくことができる、そういう学校づくりを今年も進めていきたいと考えています。

保護者のみなさま、地域のみなさま、令和6年度も中川中の教育活動に一層のご理解とご協力をたまわりますよう、よろしく願い申し上げます。